

第1学年通信



江戸川区立小岩第二中学校
第1学年通信 第14号
令和7年12月3日発行

文化発表会の作文を紹介します

『努力の文化発表会』 1組 H.S.

わたしは、今回の初めての文化発表会で、悔しかったけれど達成感のある文化発表会にできた。

結果的には、金賞、銀賞はとれなかったけれど、日々練習したので金賞や銀賞と同じくらいの達成感を手に入れた。それは、くやしさを上回る達成感だった。

何回も練習したが、この一回、一回を40人全員で頑張って積み上げた曲だったので、最高の思い出にできたと思う。1組は1組なりに、一つずつ課題をつくり、解決に向けて努力することは、間違っていなかったとすごく思える。

なぜなら、課題を解決することで必ず、成長してどんどん曲がレベルアップすることができていたからだ。いろいろな人がアドバイスをくれたり、3年生の歌を聞きに行ったりして、1組なりにできることはできたと思う。

決して、先生達の採点が悪いというわけではないが、1組の中では金賞をとったような気がした。あと2回ある合唱コンクールは、もう1組全員でできないけれど、この経験を生かして、次も頑張ろうと思う。

『合唱コンクール』 2組 A.S.

中学校初めての合唱コンクールで私は自由曲の指揮者をするようになりました。

毎日ある歌練習、最初はどのような事をすればいいのか、どこに気をつければいいのか、わからない事や不安ばかりでした。

でも、川合先生や小野先生、他の指揮者たちにアドバイスをもらい、歌に合った指揮をふることが少しずつできるようになりました。

ある日、練習中にパートリーダーが言い争ってしまったり、ふざける人が出てきたりしてクラスの雰囲気が悪くなってしまった時がありました。このままだと金賞は目指せないと思い、先生達ともう一度、2組ならではの明るい良い雰囲気を作ろうと協力しました。その結果、言い争いも少なくなり、ふざけていた人も歌に集中してくれる様になりました。

その後の歌練習では、サビ前のクレシェンド、休符、表現に注目して練習パート別に行いました。私も最初はなめらかにふったり、サビは大きくふったりいろいろな工夫を重ねていきました。毎日書いている良いところと反省点の表。最初は反省点ばかりだったのが、だんだんと良いところもたくさんまる様になり、成長を感じました。また、友達や先生方に、「2組の歌とても上手だね」と言われると、うれしくて胸がいっぱいになりました。

本番の日、他のクラスの歌もクオリティーが高く、不安になりました。でも、2組ならきっとできる！そう信じて挑みました。本番で歌ったCOSMOSは今までで一番良かったと今でも思っています。そして、1年生の結果発表。金賞は1年2組と聞いた瞬間、全身の力が抜ける感覚と同時にうれしくて涙が出てきました。

このクラスも残り5か月。合唱コンクールでの団結力を生かしていきたいです。



文化発表会の思い出



学年合唱

「大切なもの」



5組

「怪獣のバラード」



1組

「マイバラード」



4組

「変わらないもの」



2組

「COSMOS」

金賞



3組
「ハートの
アンテナ」



午前の発表

